



05 今月のインタビュー

Interview



“

<金ヒョンスン 代表取締役 履歴>
- USC Annenberg School for Communication 修士
- 現 株式会社 New Green 代表取締役
- 現 株式会社 Bokwang Industry 代表取締役

”



“

株式会社 New Greenは1995年9月に創立され、職員数は64人（2018年12月基準）の廃棄物処理専門中小企業だ。金ヒョンスン 代表取締役は2009年に就任して現在まで在職中。

”



“廃棄物業種 排出権取引企業 温室効果ガス削減のパイオニア” “株式会社 New Green 金ヒョンスン 代表取締役に会う。”

株式会社 New Greenは環境に優しい経営に基づいて国家経済発展に貢献することを経営目標として廃棄物中間処分業、廃棄物収集業、廃棄物リサイクル、廃水処理業に努めている。なお、2019年排出権取引制参与企業温室効果ガス削減設備支援事業に選定され、温室効果ガス削減施設に関する費用の支援を受けた。さて株式会社 New Greenの金ヒョンスンに会って株式会社 New Greenのメイン業務と温室効果ガス削減努力に対する話を聞いてみよう。

国内温室効果ガス削減設備支援事業と

株式会社 New Greenの温室効果ガス削減対応現状

金ヒョンスン
株式会社 New Green 代表取締役



Q1. 株式会社 New Greenは2013年に廃棄物業種の排出権取引制対象企業に指定されて温室効果ガス削減努力を積極的に推進していることで知っていますが、株式会社 New Greenのメイン事業に関して簡単に説明して下さい。

株式会社 New Greenは環境に優しい経営に基づいて国家経済発展に貢献することを経営目標として次のような事業を努めています。1つ目は、廃棄物中間処分業（焼却専門）、廃棄物収集運搬業で産業現場から排出される各種廃棄物を安全に運搬及び処理するように廃棄物中間処分業（焼却専門）、廃棄物収集運搬業の許可を取って廃棄物処理施設（焼却施設）を設置、そして多数の運搬車両を保有して運営しています。廃棄物処理施設の運営で発生する廃熱を回収して近隣の企業に供給することで温室効果ガス削減に貢献しています。

2つ目は、廃棄物リサイクル業（破砕残材リサイクル活用業）登録で自動車破砕残材物を処理及び廃熱回収再利用しています。

3つ目は、排気ガス類処理業の登録で代表的な温室効果ガス誘発物質の自動車冷媒を分離処理ができる設備を揃えて温室効果ガス削減に貢献しています。最後は、廃水処理業の許可を取って焼却施設で発生する廃熱を利用して工場現場で発生する産業廃水を受託処理ができる施設を運営しています。

Q2. 株式会社 New Greenは韓国環境公團の2019年排出権取引制対象企業温室効果ガス削減設備支援事業の上半期事業者に選定され、温室効果ガス削減施設に関して設備投資費の50%以内、最大3億ウォンの支援を受けられた事が知られていますが、この件で支援を受けられた温室効果ガス削減設備について説明をお願いします。

弊社の温室効果ガス削減支援設備は廃熱ボイラから生産する蒸気を効果的に使うために外部供給以外の余った蒸気と弊社の廃水処理設備に使っている蒸気を活用して蒸気を動力源にする蒸気駆動コンプレッサー（SDC）を2台設置して弊社の施設運営に必要なエアを生産しています。

蒸気駆動コンプレッサー（SDC）の機能は、高圧蒸気が低圧蒸気に減圧して蒸気減圧による熱量差を利用してエアを生産する設備で既設のコンプレッサーと比べて節電ができるので温室効果ガス削減が可能ことになる設備です。なお、動力源として使った蒸気から発生する高温のドレンはまた回収してボイラ効率増大にも寄与しています。これは、既設の電力を動力源にするコンプレッサー稼働に比べて蒸気駆動コンプレッサー2台稼働で年間831,000kWhの節電を期待していて年間385トンの温室効果ガス削減効果を示しています。



05 今月のインタビュー Interview



“ 温室効果ガス削減設備の蒸気駆動コンプレッサーを設置して運用することで年間831,000 kWhの節電を通じて実質的に電力代削減に大きく寄与。。。 ”

Q3. 韓国環境公團の温室効果ガス削減設備支援事業を通じて株式会社 New Greenの温室効果ガス削減に関してどんな部分で大きく役に立ったのかを説明をお願いします。

弊社の温室効果ガス削減設備の蒸気駆動コンプレッサー設備を韓国環境公團から資金を支援してもらい、2018年、2019年に各1台ずつ、トータル2台を設置して現在も稼働しています。既設は、ユーティリティ運営に必要なエアを得るために電力を駆動力にするコンプレッサーを稼働しましたが、現在は、温室効果ガス削減設備の蒸気駆動コンプレッサーを設置して運営することで年間831,000 kWhの節電を通じて実質的に電力代に大きく寄与しています。これは、年間385トンの温室効果ガス削減効果を示していて弊社の温室ガス割当量の不足分を補完することができますとすぐ役に立っています。

Q4. 最後に株式会社 New Green以外の廃棄物業の排出権取引制対象企業に韓国環境公團の温室効果ガス削減設備支援事業メリットに関する話をお願いします。

弊社を始めとする廃棄物業の排出権取引制対象企業の場合は、削減設備に関する技術情報不足と該当支援事業の情報に関心がありませんでした。さらに、各企業別に設備運営資金不足など、設備改善及び追加的に設備を設置することが難しい実情になります。特に殆どの企業が研究人力が足りない実情です。今後、産学協同などの多方面の支援が持続的に必要だと判断します。

しかし、韓国環境公團の温室効果ガス削減設備に関する情報提供と資金支援によって弊社を含む既存の排出権取引制対象企業では、政府機関の韓国環境公團の支援事業に積極的に参加して経済的なサポートをもらって会社運営に大きな役に立ちました。これは、温室効果ガス削減を通じて地球温暖化問題を解決できる役割に共に参加して環境に優しい政策に微力ですが、貢献ができる良いチャンスだと思っています。

株式会社 New Greenの温室効果ガス削減事業の例示



< 温室効果ガス削減設備支援事業の協約式 >



< 温室効果ガス削減設備 (蒸気駆動コンプレッサー) >